

問1 江戸幕府が、大名に一年おきに領地と江戸を往復させた義務を何という？

1. 目安箱 2. 参勤交代 3. 江戸参府 4. 公事方御定書

問2 江戸時代後期に三十五年以上の歳月をかけて、古事記の注釈書を完成させた国学者は誰？

1. 荷田春満 2. 賀茂真淵 3. 本居宣長 4. 平田篤胤

問3 フランス革命後の混乱期に登場し、皇帝となってヨーロッパの大部分を勢力下に置いた人物は誰？

1. ナポレオン 2. ロベスピエール 3. ルイ16世 4. ラファイエット

問4 江戸幕府において、幕府の財政を立て直すために「享保の改革」を行った八代将軍は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川家宣 3. 徳川家康 4. 徳川吉宗

問5 江戸時代、幕府の財政を支える金貨の材料となる金を産出した、新潟県にある島を何という？

1. 石見大森 2. 佐渡島 3. 生野 4. 別子

問6 伊能忠敬の測量によって作成された、日本初の正確な全国地図を何という？

1. 大日本沿海輿地全図 2. 解体新書 3. 長崎図絵 4. 古事記伝

問7 1789年にフランスで起こり、国民議会により人権宣言が採択された歴史的な出来事を何という？

1. 名誉革命 2. アメリカ独立戦争 3. フランス革命 4. 清教徒革命

問8 江戸幕府が1639年に禁じ、南蛮貿易を終結させる決定打となった行為を何という？

1. オランダ船の来航 2. 鎖国の開始 3. 黒船の来航 4. ポルトガル船の来航

問9 薩摩藩の支配を受けながらも、琉球王国が独立した王国として朝貢貿易を続けていた相手国を何という？

1. 日本（江戸幕府） 2. 中国（清） 3. 東南アジア（シヤム） 4. 朝鮮（李氏朝鮮）

問10 将軍の代替わりなどを祝うために、朝鮮から日本へ派遣された使節を何という？

1. 朝鮮通信使 2. 遣明使 3. 遣唐使 4. 遣隋使

問11 江戸幕府が禁教政策の一環として、キリスト教徒を見つけ出すために行かせた踏み絵を何という？

1. 寺請制度 2. 五人組 3. 宗門改 4. 絵踏

問12 江戸時代に発行された、日本で初めての本格的な西洋医学の翻訳書を出版した年は何年？

1. 1787 2. 1792 3. 1774 4. 1720

問13 江戸時代中期、蝦夷地の開発を計画し、間宮林蔵を派遣するなど北方の調査に意欲を示した老中は誰？

1. 水野忠邦 2. 田沼意次 3. 徳川吉宗 4. 松平定信

問14 寛政の改革を行い、飢饉に備えて米を蓄えさせる「困米」などの政策を行った老中は誰？

1. 田沼意次 2. 水野忠邦 3. 徳川吉宗 4. 松平定信

問15 葛飾北斎が『富嶽三十六景』で使用した、当時の西洋から輸入された化学染料を何という？

1. 朱 2. 群青 3. ペロ藍 4. 胡粉

問16 薩摩藩が支配し、その特産品である黒砂糖の利益を得て藩の財政を支えた国を何という？

1. 琉球王国 2. 蝦夷地 3. 松前藩 4. 対馬藩

答え合わせ・解説

問1	答え 2 参勤交代	参勤交代では、大名は妻を江戸に人質として残し、自身も領地と江戸を一年おきに往復しなければなりませんでした。この移動費用や江戸での滞在費は莫大であり、大名の経済力を弱めることで、戦費を調達させないという目的がありました。
問2	答え 3 本居宣長	本居宣長は、三重県の松阪を中心に活動し、三十五年以上の歳月をかけて『古事記伝』を著しました。彼は古事記を読み解くことで、日本人の心のあり方や古来の知恵を明らかにしようとしてしました。
問3	答え 1 ナポレオン	1804年に皇帝に即位し、ナポレオン戦争を通じてヨーロッパの広範囲を勢力下に置きました。同時に、ナポレオン法典の制定などにより革命の成果を法制度として定着させました。
問4	答え 4 徳川吉宗	徳川吉宗は1716年に將軍となると、質素倹約を奨励し、年貢の徴収を強化するなどの「享保の改革」を断行しました。また、意見を公に求める「目安箱」を設置したり、江戸の防火対策として町火消を整備するなど、政治体制の強化にも努めました。
問5	答え 2 佐渡島	新潟県の佐渡島にある佐渡金山は、江戸時代に幕府が直接支配する天領として管理されました。ここで採掘された金は小判の材料として使われ、幕府が貨幣経済をコントロールする上で非常に大きな役割を果たしました。最盛期には非常に多くの金を産出し、幕府の財政を大いに潤しました。
問6	答え 1 大日本沿海輿地全図	伊能忠敬らが足かけ17年をかけて日本全国を歩き、天体観測と距離測定を行って作成した地図です。それまでの地図とは比較にならないほど海岸線や山河の位置が正確で、現代の地図と比較しても大きな誤差がない驚異的な精度でした。
問7	答え 3 フランス革命	1789年、市民が蜂起して始まった革命で、国民議会は「人権宣言」を採択し、個人の自由や平等を掲げました。この革命は従来の身分制社会を否定し、近代民主主義の理念を大きく前進させました。
問8	答え 4 ポルトガル船の来航	1637年の島原・天草一揆を経て、幕府はキリスト教を厳しく弾圧しました。その一環として、キリスト教を広めるポルトガル船の来航を禁止し、1639年に南蛮貿易を完全に終結させました。
問9	答え 2 中国（清）	江戸時代に入り、薩摩藩の支配下に入った後も、琉球王国は中国（清）に対して朝貢（貢ぎ物を捧げ、返礼を受ける貿易形態）を続けることが許されました。これは薩摩藩が中国との公的な貿易ルートを間接的に確保するため、あえて琉球の形式的な独立を維持させたためです。
問10	答え 1 朝鮮通信使	「朝鮮通信使」とは、江戸幕府の要請に応じて朝鮮王朝から派遣された大規模な使節団です。対馬藩の仲介によって実現し、江戸までの旅路で各地の文人や知識人と交流しました。彼らが持ち込む進んだ文化や学問は、日本の文化発展に大きな影響を与えました。
問11	答え 4 絵踏	絵踏は、キリストやマリアが描かれた金属製や木製の板を、民衆に踏ませることで信者でないことを証明させたものです。信者であれば神聖なものを踏むことを拒むため、そこから潜伏している信者をあぶり出そうとしました。
問12	答え 3 1774	杉田玄白や前野良沢らが、オランダの医学書『ターヘル・アナトミア』を苦勞の末に翻訳し、1774年に『解体新書』として出版しました。人体の構造を正確に記述した挿絵は、当時の日本の医学界に衝撃を与えました。
問13	答え 2 田沼意次	田沼意次は、株仲間の結成を認めて税収を増やす「重商主義」的な政策を進めました。また、北方の調査を重視し、蝦夷地の開発や開拓の可能性を検討しました。間宮林蔵を派遣して樺太周辺を調査させたことは、地理的な知識を深める大きな功績となりました。
問14	答え 4 松平定信	松平定信は老中に就任し、倹約令を出すとともに、「困米」として飢饉に備えた米の備蓄を命じました。また、学問の統制や武士の規律強化など、厳しい改革を行いました。
問15	答え 3 ペロ藍	ペロ藍は、フェルロ（ベルリン）で開発されたことから名付けられた化学染料で、従来の天然染料では出せなかった深みのある鮮やかな青色を表現できました。葛飾北斎はこれを用いた風景画で、それまでにない色彩表現を確立しました。
問16	答え 1 琉球王国	薩摩藩は琉球王国を支配し、甘蔗（サトウキビ）の栽培を奨励して、加工された「黒砂糖」を独占的に販売することで巨額の利益を得ました。この経済的な圧迫は、琉球の社会や暮らしに大きな影響を及ぼしました。